

- 問1 関東地方の農業統計において、生乳の出荷割合が上位である北部の内陸県について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 茨城県は、太平洋に面した長い海岸線を持ち、内陸部よりも沿岸部での酪農が産業の中心となっている。 | 2. 群馬県は、山地や高原が多い地形を活かして酪農が盛んに行われており、生乳の生産量は全国でも上位に入っている。 | 3. 埼玉県は、東京都に隣接しているため、生乳の生産よりもコマツナやホウレンソウなどの近郊農業に特化している。 | 4. 栃木県は、平野部が広いため稲作が中心であり、家畜の飼育は関東地方の中でも非常に少ない傾向にある。 |
|--|--|---|---|
- 問2 茨城県、栃木県、群馬県の3県にまたがり、内陸部における高速道路網の整備を背景に、1960年代以降、日本の製造品出荷額等において占める割合を大きく伸ばしてきた工業地域はどこか。
(2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 北九州工業地域 | 2. 京浜工業地帯 | 3. 北関東工業地域 | 4. 阪神工業地帯 |
|------------|-----------|------------|-----------|
- 問3 東京都、埼玉県、茨城県の人口動態をまとめた資料において、埼玉県の「昼夜間人口比率」が100%を下回っている状態を正しく解釈したものはどれか。
(2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の方が多い「社会減」の状態にある。 | 2. 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を超過している。 | 3. その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。 | 4. 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。 |
|---|--|---|---|
- 問4 2000年代以降の工場立地件数に関する統計において、群馬県、栃木県、茨城県からなる北関東地域は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県からなる南関東地域を上回る件数を記録したことがあります。北関東でこのように工場立地が進んだ背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。
(2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 南関東よりも労働賃金が高く、高度な技術を持つ人材が北関東に集中しやすいため。 | 2. 南関東に比べて地価が安く、高速道路網の整備によって広い敷地を確保しやすくなったため。 | 3. 大規模な港湾施設が整備され、内陸部であっても海外からの原材料の輸入が容易になったため。 | 4. 内陸県である群馬県は、地震や台風の影響を全く受けないため、生産拠点が集中したため。 |
|---|---|--|--|
- 問5 1960年と2014年の日本の製造品出荷額等の統計を比較したとき、北関東工業地域に関する記述として正しいものはどれか。なお、1960年時点の全国の総出荷額は約15兆円、2014年時点は約307兆円であるものとする。
(2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 北関東工業地域は1960年時点で既に全国最大の割合を占めており、その後も維持された | 2. 全国の出荷額が減少傾向にある中で、北関東工業地域のみが生産額を維持した | 3. 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した | 4. 高速道路の整備が遅れた影響で、北関東工業地域の出荷額の割合は1960年より低下した |
|--|--|--|--|
- 問6 茨城県では、東京などの大消費地に近いという立地条件を活かし、野菜などの新鮮さが求められる農産物を生産して出荷する農業が盛んに行われています。このような農業の形態を何と呼びますか。
(2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 近郊農業 | 2. 適地適作 | 3. 促成栽培 | 4. 土地生産性農業 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問7 明治時代に群馬県に設置された旧富岡製糸場が、日本の近代化において果たした役割とその後の評価について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 戦国時代から続く銀の採掘技術を西洋に伝える窓口となり、東アジアの交易の中心地となった。現在は石見銀山の一部として保護されている。 | 2. 銅の採掘に伴う鉱毒問題を解決するための最新技術を開発する拠点となり、現在は日本の公害対策の歴史を伝える史跡となっている。 | 3. 城郭の中に大規模な紡績工場を併設し、軍事と産業を一体化させた都市開発のモデルとなった。現在は国の重要文化財に指定されている。 | 4. フランスの技術を導入して高品質な生糸を大量生産する仕組みを整え、外貨獲得に貢献した。その歴史的価値から世界文化遺産に登録されている。 |
|---|---|---|---|
- 問8 関東地方の内陸北部に位置し、キャベツの収穫量が全国で第2位となっている県はどこですか。この県ではレタスやほうれん草の生産も盛んに行われています。
(2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 群馬県 | 2. 千葉県 | 3. 茨城県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の貿易における輸出拠点の統計データにおいて、成田国際空港は名古屋港などと並んで常に上位に位置しています。この空港から輸出される製品の特徴として最も適切なものを、次の説明の中から選びなさい。
(2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 重量があり船舶での輸送が適している鉄鋼や大型の工作機械。 | 2. 世界各地へ専用の運搬船を用いて大量に輸出される自動車。 | 3. 価格が安く大量輸送が前提となる、海外から輸入された衣類や日用雑貨。 | 4. 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。 |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問10 千葉県における2015年の統計では、夜間人口（常住人口）が約622万人であるのに対し、昼間人口は約558万人となっています。このように、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す指標を「昼夜間人口比率」と呼びますが、このデータに基づいた場合、千葉県の値はどの区分に該当しますか。
(2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------|----------|---------------|
| 1. 95以上100未満 | 2. 90未満 | 3. 110以上 | 4. 100以上105未満 |
|--------------|---------|----------|---------------|
- 問11 群馬県の工業は、製造品出荷額等の約31.2%を「輸送用機械」が占めているという特徴があります。このような産業構造が形成された背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 広大な農地で収穫される農作物を加工するため、食料品工業が県全体の出荷額の多くを占めているため | 2. 水資源が豊富な山間部において、古くから行われてきた製糸業や繊維工業が現代でも主流であるため。 | 3. 内陸部に位置する利点を生かし、広い工場用地と高速道路網を活用した自動車の生産拠点となっているため。 | 4. 大規模な石油コンビナートが形成され、原料の輸入から製品の出荷までを一貫して行っているため。 |
|---|---|--|--|
- 問12 平成10年度から28年度にかけての千葉県におけるごみ処理の動向について、統計上の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 1人1日あたりのごみ排出量は全国平均を上回るペースで増加しているが、リサイクル率は全国で最も高い水準にある。 | 2. 1人1日あたりのごみ排出量は減少傾向にあり、リサイクル率については全国平均との差が縮まっている。 | 3. 生活系ごみの排出量が大幅に増加した影響で、1人1日あたりのごみ排出量の合計は平成10年度当時よりも増えている。 | 4. リサイクル率が全国平均を大きく下回る状況が続いており、事業系ごみの排出量も全国で最も多い数値を示している。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 群馬県は、山地や高原が多い地形を活かして酪農が盛んに行われており、生乳の生産量は全国でも上位に入っている。	群馬県は関東地方の北部に位置する内陸県であり、その地形的特性から酪農が非常に盛んです。特に北部の高原地帯では冷涼な気候を活かしたキャベツなどの高原野菜の栽培と並んで、乳牛の飼育が活発に行われています。一方で茨城県は東側で太平洋に面しており、栃木県や埼玉県も酪農は行われていますが、設問の地理的条件や生産の特徴に最も合致するのは群馬県です。
問2	答え 3 北関東工業地域	この地域は、従来の沿岸部に発達した四大工業地帯とは異なり、東北自動車道や関越自動車道などの高速道路沿いに工場が分散・進出したことで発展しました。1960年には全国の出荷額の3.3%に過ぎませんでしたが、2014年には9.2%にまでそのシェアを拡大させています。
問3	答え 3 その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口を100とした場合の昼間人口の割合を示します。数値が100を下回るということは、昼間にその地域にいる人口が、夜間に住んでいる人口よりも少ないことを意味します。これは、住宅地としての機能が強く、仕事や学びの場が県外（主に東京都）にある人が多いことを裏付けています。
問4	答え 2 南関東に比べて地価が安く、高速道路網の整備によって広い敷地を確保しやすくなったため。	北関東自動車道や関越自動車道、東北自動車道といった高速道路網の充実により、都心や港湾へのアクセスが向上しました。都市化が進み地価が高騰した南関東に比べ、安価で広大な土地が確保しやすい北関東は、大規模な工場を建設する企業にとって有利な条件が揃っています。
問5	答え 3 全国の出荷額が大幅に増大する中で、北関東工業地域の占める割合も約3倍に拡大した	日本の製造品出荷額が全体として15兆円から307兆円へと巨大化する中で、北関東工業地域のシェアは3.3%から9.2%へと成長しました。これは、既存の京浜工業地帯などのシェアが低下する一方で、北関東が新たな日本の工業の拠点として重要な地位を築いたことを示しています。
問6	答え 1 近郊農業	大都市の周辺地域で、輸送コストを抑えつつ鮮度の高い農産物を供給する仕組みは近郊農業と呼ばれます。茨城県は平地が多く、高速道路網などの交通インフラが整備されているため、ピーマンやハクサイ、レタスといった野菜の供給基地としての役割を担っています。
問7	答え 4 フランスの技術を導入して高品質な生糸を大量生産する仕組みを整え、外貨獲得に貢献した。その歴史的価値から世界文化遺産に登録されている。	旧富岡製糸場は、明治政府が日本の生糸を国際水準に引き上げるため、フランスから技術者や機械を招いて設立した施設です。ここで学んだ工女たちが全国に技術を広める役割も果たしました。交通網の整備された群馬県という立地も、原料となる繭の調達や製品の輸送に有利に働きました。2014年には、産業の近代化を支えた重要性が認められ、世界文化遺産に登録されています。
問8	答え 1 群馬県	群馬県は関東地方の北部に位置する内陸県で、特にキャベツの生産において全国有数のシェアを誇ります。茨城県や千葉県も農業が盛んですが、これらは沿岸部に位置し、ピーマン（茨城）やネギ（千葉）などの生産が特に有名であるという違いがあります。
問9	答え 4 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。
問10	答え 2 90未満	昼間人口比率は「（昼間人口 ÷ 夜間人口）× 100」で算出されます。千葉県の場合、昼間の人口（約558万人）が夜間の人口（約622万人）を大きく下回っており、計算すると約89.7となるため、90未満の区分に該当します。これは東京などの都心部へ流出する通勤・通学者、いわゆる「千葉都民」と呼ばれる層が多いことを反映しています。
問11	答え 3 内陸部に位置する利点を生かし、広い工場用地と高速道路網を活用した自動車の生産拠点となっているため。	群馬県などの北関東の内陸部では、かつての製糸業などの伝統を土台にしつつ、戦後は広い土地と関越自動車道や北関東自動車道などの交通網の整備を背景に、自動車工場が多く進出しました。これにより、輸送用機械が県の主要な産業としての地位を確立しました。
問12	答え 2 1人1日あたりのごみ排出量は減少傾向にあり、リサイクル率については全国平均との差が縮まっている。	千葉県では、平成10年度から28年度の長期的な推移において、1人1日あたりのごみ排出量は全国と同様に減少しています。また、リサイクル率に関しては、かつては全国平均との間に開きがありましたが、年度を追うごとにその差が小さくなり、全国平均に近い水準まで向上していることが統計から読み取れます。